

墨田区における地域福祉の推進とボランティア活動への参加促進を図るため、今年度で第8回目となる「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を、平成30年7月7日（土）13時から開催しました。

今年度は「縁が育む 地域のカ ～ 町会・自治会とボランティア ～」をテーマとし、約160名の方にご参加いただきました。

(1) 活動事例紹介

「アイデア次第で地域力アップ! ～町会・自治会とボランティアがつなぐ人の縁～」
 コーディネーターに第3期 墨田区社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会 副委員長である 静間宏治氏をお招きし、3つの活動事例の紹介をしました。

○地域のみんが、児童館の応援団!

～児童館は 子どもが育つ活動拠点 人がつながる地域の拠点～



「児童館」と地域の方のつながりについて、中川児童館の宮田館長から発表がありました。中川児童館を支える地域ボランティア組織「中川つくし会」、児童館の施設を使って開催されているふれあいサロン、個人ボランティアの方の協力など、子育て支援の場ともなっている児童館を応援する地域の方々の活躍について紹介がありました。

○ひとつになった避難訓練

～町会・保育園・企業・学生 みんなで訓練したからわかったこと～

「避難訓練」をテーマにし、曳舟中町会の須藤町会長から、各地で起こる災害を教訓に、町会関係者、地元の保育園、企業らが一緒に行った避難訓練についての紹介がありました。



今までバラバラにやっていた避難訓練をみんなで一緒にやってみるまでの経緯や、子どもたちの動きなど、一緒に訓練したからこそ分かったことのお話がありました。

○地域丸ごと 小地域福祉活動 ～若い世代も参加する福祉活動にするには?～



「小地域福祉活動」は町会・自治会地域をひとつのエリアとする地域の支えあい活動です。地域の支えあいという高齢者のみまもりが主となっている場合が多いのですが、将来の地域活動を担っていく人材発掘も視野に入れ、若い方に参加してもらえよう活動をしている団体について、墨田区社会福祉協議会の新井氏から紹介がありました。

(2) グループディスカッション 「地域力アップのアイデアを出し合おう」

活動事例紹介を受けて、参加者が6人から10人程のグループに分かれ、「地域力アップのアイデアを出し合おう」をテーマにディスカッションをしました。最初に自分の地域の課題、活動における課題など、日頃感じていることをそれぞれが書き出し、紹介しました。その後、その中から全員で話し合う課題をしぼり、解決に向けた意見交換をしました。ここでは結論が出なくても、地域に持ち帰り、活動の参考にしてもらおうという狙いがありました。

(3) 発表会 「アイデア・ヒントを共有しよう」

発表会では、3グループにディスカッションの内容を発表してもらいました。子どもと地域の方との交流、マンション住民との交流を課題としたグループ、水害時の避難を課題としたグループ、若い世代への活動の引き継ぎをテーマにしたグループと様々な発表を聞くことができました。その後、コーディネーターの静間氏から講評があり「地域はただ人が住んでいるのではなく、縁があることで自分の住んでいる地域をよくしたいという考えが浮かんできます。『他者とのかわりの意味への気づき』がボランティア活動の原点であり、これを続けていくことが地域福祉です。」とお話がありました。

☆ 詳細については9月上旬頃ホームページで公開します。